

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	秋田大学大学院						
教育プログラム・コース名	レアキャンサーを担当できるがん専門医療人養成コース						
対象者	医学系研究科大学院生（博士課程）						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	レアキャンサーとされる生殖器、血液、皮膚、骨軟部組織、頭頸部、口腔などの領域や小児に発生する悪性腫瘍に対して①がんゲノムやがん生物学などの基礎医学を理解し、その成果である新たな分子標的治療臨床を實踐することができる医療者。②がん患者の身体状況や腫瘍の特性に立脚したプレジジョン医療を實踐できる医療者を養成する。						
修了要件・履修方法	博士は必修を含む15単位以上を履修し、学位論文を作成する。査読のある科学雑誌に掲載され、学内の最終試験に合格する（15単位）。以上を要件とする。						
履修科目等	基礎科目では、生命科学研究概論（2単位）、医用統計疫学基礎・演習（2）、臨床医学研究概論（2）、最新医科学研究（2）を必修とし、医科学研究セミナーおよび基礎医学技術実習から2単位以上選択履修する。また専門科目として、分子標的治療論（2）、プレジジョン医療論（2）、レアキャンサーのがん生物学（2）、レアキャンサーの治療論（2）の履修科目を設ける。このうち、レアキャンサーのがん生物学（2）、レアキャンサーの治療論（2）を必修とし、分子標的治療論（2）、プレジジョン医療論（2）と合わせて5単位以上選択履修する。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がん治療の飛躍的な進歩はレアキャンサーとされる生殖器、血液、皮膚、骨軟部組織、頭頸部、口腔などの領域や小児に発生する悪性腫瘍に対しても恩恵をもたらしている。すでに本学には、このような領域に対して標準治療を實踐する医療人養成の体制は整っている。しかし、日進月歩である治療法の進歩に対して、「がん専門医療人養成」の共通カリキュラムに加えて、新たに①がんゲノムやがん生物学などの基礎医学を理解し、その成果である新たな分子標的治療を實踐できる②がん患者の身体状況や腫瘍の特性に立脚したプレジジョン医療を實踐できる。このような専門的医療人を養成する。連携大学と症例登録やキャンサーボードなどを行い、希少疾患を幅広く経験できるような体制を構築する。						
指導体制	生殖器、血液、皮膚、骨軟部組織、頭頸部、口腔などの領域や小児に発生する悪性腫瘍を担当する診療科においては、これまでに全国水準や世界標準の基礎及び臨床研究の実績があり、これまでに多数の専門医を輩出している。また、予定されている連携大学との間で授業互換、遠隔講義などの実績があり、これを深化させる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域の専門医</li> <li>・がん治療認定医</li> </ul>						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院生	0	3	3	3	3	12
	計	0	3	3	3	3	12